

# 業務状況説明書

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

富士見市水道事業

## 1 令和3年度下半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 営業

令和3年度末における給水人口は、112,185人で、前年度末に比べ604人の増加となっています。

年間給水量は、11,366,420 $\text{m}^3$ で、前年度に比べ195,720 $\text{m}^3$ の減少となっており、人口が増加しているにもかかわらず、給水量が減少するという傾向がみられました。

年度 区分		令和3年度 (年度末)	令和2年度 (年度末)	比較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		112,185	111,581	604	100.54
給 水 量	総量 ( $\text{m}^3$ )	11,366,420	11,562,140	$\Delta$ 195,720	98.31
	1日最大 ( $\text{m}^3$ )	34,240	35,370	$\Delta$ 1,130	96.81
	1日平均 ( $\text{m}^3$ )	29,981	27,781	2,200	107.92

#### イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、大字水子地区の送水管布設替 (R5114 外) 工事、大字上南畑地区の配・給水管布設替 (R5225) 工事等を実施いたしました。

配水管改良事業については、大字南畑新田地区の給水管布設 (R570) 工事、大字水子地区の配・給水管布設 (R1309 外) 工事等を実施いたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,878,142	938,965	1,006,327	1,945,292	103.58
	営業収益	1,808,586	937,122	934,854	1,871,976	103.50
	営業外収益	69,056	1,509	71,473	72,982	105.69
	特別利益	500	334	0	334	66.80
支出	事業費	1,695,802	434,543	1,118,551	1,553,094	91.58
	営業費用	1,639,845	424,818	1,073,510	1,498,328	91.37
	営業外費用	54,757	9,716	45,041	54,757	100.00
	特別損失	200	9	0	9	4.50
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	8,350	0	3,980	3,980	47.66
	他会計負担金	5,600	0	845	845	15.09
	工事負担金	2,750	0	3,135	3,135	114.00
支出	資本的支出	777,836	266,058	362,474	628,532	80.81
	建設改良費	611,851	183,791	278,757	462,548	75.60
	企業債償還金	165,985	82,267	83,717	165,984	99.99

## 2 令和4年度予算の概要

### (1) 予算編成概要

水道事業を取り巻く環境は、人口減社会の到来や利用者の生活様式の多様化、節水意識の定着による節水機器の普及等により、有収水量・給水収益ともに減少の傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等として外出自粛やリモートワーク等の活用による在宅勤務の増加に伴い、生活用水量（家庭内で使用する水量、手洗い・うがい）が一時的な増加傾向にあるものと考えられます。その一方で、水道水の安定供給を維持するために、水道施設の改良工事等に多額の費用が必要となっていく状況にあります。

令和4年度の水道事業予算については、令和3年度の実績を踏まえた水道料金の微増を見込んでいます。しかしその一方で、建設改良費は経年劣化に伴う水道施設の更新等、今後も多額の経費が必要となることから施設の計画的な整備と維持管理に努め、安心・安全で安定的な水道水の供給を可能とするための事業を中心とした予算編成に努めました。

### (2) 業務の予定量

区 分 \ 年 度		令和4年度	令和3年度	増減
給水戸数（戸）		54,369	53,740	629
給水量	総量（m <sup>3</sup> ）	11,669,125	11,419,487	249,638
	1日平均（m <sup>3</sup> ）	31,970	31,286	684

### (3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比5.5%増の19億8,070万5千円、支出は、前年度比1.1%増の17億1,409万5千円で、収支差引では、2億6,661万円の黒字となっています。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比38.3%減の515万円、支出は、前年度比62.6%増の9億7,817万6千円で、収支差引では、9億7,302万6千円の赤字が見込まれていますが、赤字分については損益勘定留保資金等で補填することとしています。

## (4) 収入支出明細書

## 収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,980,705	
	営 業 収 益		1,900,417	
		給 水 収 益	1,647,981	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	21,339	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,020	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	144,292	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	85,785	下水道使用料徴収受託料等を計上
		営 業 外 収 益		79,788
	受 取 利 息		840	預金利子の予定額を計上
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金		12,450	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
	長 期 前 受 金 戻 入		65,853	長期前受金の戻入予定額を計上
	雑 収 益		645	その他雑収益を計上
	特 別 利 益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,714,095	
	営 業 費 用		1,700,184	
		原 水 及 び 浄 水 費	876,308	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	150,718	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	20,790	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	193,905	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	46,066	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	408,887	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
		営 業 外 費 用		12,711
	支 払 利 息		11,711	企業債及び一時借入金利子を計上
	雑 支 出		1,000	その他雑支出を計上
	特 別 損 失		200	
		過 年 度 損 益 修 正 損	200	過年度損益修正損を計上
	予 備 費		1,000	
		予 備 費	1,000	

## 資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			5,150	
	他 会 計 負 担 金		2,400	
		他 会 計 負 担 金	2,400	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		2,750	
		配 水 工 事 負 担 金	2,750	開発に伴う配水工事負担金を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			978,176	
	建 設 改 良 費		847,717	
		建 設 総 係 費	28,693	建設に必要な事務費を計上
		老 朽 管 更 新 事 業 費	249,675	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄 水 場 改 良 費	35,574	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	530,250	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	3,525	量水器出庫予定額を計上
	企 業 債 償 還 金		130,459	
		企 業 債 償 還 金	130,459	企業債元金の償還金を計上